広報 ながはま

平成23年11月1日号

Contents

■特集　おすすめの秋の過ごし方　2～5P
■基本構想　6・7P
■文化の日表彰　8～10P
■高校再編　11P
■原子力の安全対策　12P
■青少年健全育成　13P
■ほっとにゅ～す　14・15P
■人権／みどりいっぱいなど　16・17P
■市政の動き、年金／募集、市長コラム　18・19P
■市民自治条例／イベント、試験、労働　20・21P
■健康／子育て　22・23P
■多文化共生、消費生活相談／文化財　24・25P
■インフォメーション　26P・27P
■裏表紙　ながはま百景、SMILE　28P

今月の表紙

長浜　秋の風物詩「きもの大園遊会」

日本一の和装イベントと言っても過言ではない長浜きもの大園遊会での一枚です。

時折雨が降るあいにくの天気となったこの日ですが、集合写真の時間は雨も上がり華やかな記念写真を撮ることができました。

日本が誇る伝統芸術「着物」。きれいに着飾った７５０人を超す皆さんが一堂に会する様は圧巻でした。

おすすめの秋のすごし方

音楽（芸術）の秋と読書の秋

芸術の秋、スポーツの秋など○○の秋と表現されるこの季節は、いろいろな事を始めたり、取り組むにはもってこいです。

今回は、読書と音楽にスポットを当てて、おすすめの秋のすごし方を紹介します。

私たちの周りには、いろいろな分野の芸術がたくさんあります。例えば、まちなかにあるガラスのオブジェや彫刻、お店などに何気なく飾られた絵画や書、大きなもので言えば歴史的な建造物などの建物そのものや計画的に創られた街並みなどがあげられます。また、琵琶湖岸に沈む夕日など、自然が作り出す風景もその一つと言えるでしょう。これらの芸術は私たちの生活に潤いを与えてくれます。

音楽もそのうちのひとつで、私たちにとってもっとも身近な芸術と言えます。音楽には、さまざまなジャンルがありますが、どれも聞く人の心を動かし安らぎや元気をもたらしてくれます。

その楽しみ方は、人それぞれ。「こうでないといけない」という決まりはありません。でも、他の人はどんなふうに音楽を楽しんでいるのか興味がありませんか？

そこで今回は、湖北オーケストラでご活躍中の益子さんに、益子さん流の音楽の楽しみ方について、お話を伺いました。

いい音楽は、空気と心を震わせる。

Q：まず音楽を始めたきっかけを教えてください。

A：家族はみんな音楽好きで小さなころから家庭には音楽があふれていました。私は、３人兄弟の３人目ですが、２人の兄はピアノ教室に通っていました。実は、私もピアノ教室に通っていましたが、中学校に進んで忙しくなり辞めてしまいました。

そんなこんなで大学に入り、ギター・マンドリンクラブに入ったのが本格的な音楽との出合いといえます。そして現在も、湖北オーケストラ以外に長浜ギター・マンドリンアンサンブルで演奏活動を行っています。

Q：では、音楽の魅力とは？

A：音楽の前に、音の説明をさせてください。音にはいろいろな要素があります。音色だとか、強弱だとか、高低などがあげられます。また、楽器によっても音色は違います。例えば同じ曲でもギターで弾くのとピアノで奏でるのとでは、全く雰囲気の異なるものになるんです。

音を組み合わせて連続させることでできるのが音楽です。

いろんな音が混合することで生まれるハーモニー、そしてそれら音の流れをつなぐことでメロディー、リズムが生まれます。

このハーモニー、メロディー、リズムが音楽の三要素といわれています。

この三要素で、自然とか、人とか、社会とかを上手に表している場合もあります。ハーモニーには、人の心をつなぐ力もあります、アップテンポなリズムというのは大抵の場合は心を元気づけるほうに作用します。

毎年、毎年新しい曲がどんどん生まれ、何千・何万と増え続ける曲の中で、１０００年、２０００年前に作曲された音楽が、今なお残っている理由は、ハーモニーやメロディー、リズムが人の心をつかんでいるからでしょう。

いい音楽とは、人の心を動かし、人をつなぐことができるものだと思うんです。

東日本大震災や９月の台風被害のような出来事があった今年は、「音楽で日本に元気を」といわれるように、人の心を元気づけたり、連帯感を生みだすなどの要素が音楽にはあります。それが魅力です。

益子（ますこ）　進也（しんや）

湖北オーケストラ　世話人
昭和19年１月１日生　67歳

「湖北地域でオーケストラ」を合言葉に結成された湖北オーケストラ。その団体の中心メンバーとして活躍中。

Q：そんなすばらしい力をもつ音楽ですが、益子さんおすすめの音楽の楽しみ方について教えてください。

A：クラシックを例に言えば、昔は、楽譜を見ながら、また、背景を考えながら解釈してという人が多かったようです。確かにそういう聞き方は面白いですが、難しいのも事実です。やはり、最初は、それよりも、正直に今聞こえている音が楽しいかどうか、今聞こえているハーモニーが心に響くかどうか、今聞こえているメロディーが夢を描かせてくれているか、素直に純粋に聞いてほしいと思います。

音楽にはクラシックやジャズ、ポップスに演歌などいろいろなジャンルがあり、好みもあると思いますが門戸を広げ「聴かず嫌い」にならず、聞いてみて気持ちのいいものを楽しんでください。自分が気に入ったものがいい音楽です。

人生には良い時と悪い時があります。私の場合、気持ちが沈んだときに救ってくれるのは、好きな音楽です。

Q：では、これから音楽を始めたい人へメッセージをお願いします

A：音楽に一番なじみやすい方法は歌を歌うことです。楽器をするならしっかり和音をひけるキーボードやギターなどがおすすめです。

しかし、大事なことは自分を追い詰めるような練習をしないこと。やはり楽しみながら自分にあった方法でリズムや和音を楽しんでほしいです。

私は、心から音楽を嫌いになったことは一度もありません。音楽のない生活は考えられないと思うようになったのはやはり文字通り「音」を「楽」しんでいるからです。皆さんにもそうあってほしいです。

音楽について、自らの経験をもとに熱く語ってくださった益子さん。ありがとうございました。

市内では、益子さんも出演される『長浜音楽祭２０１１』など音楽を楽しめる催しが11月も開催されます。詳しくは広報ながはま10月15日号（６頁）をご覧ください。